成田市こども発達支援センター (居宅訪問型児童発達支援)

支援プログラム

作成年月日:令和7年3月13日

	法人理念	療育や相談活動を通して、心身に障がいや遅れのあるこどもの発達を援助する。保護者の育児支援を行う。		
	支援方針	1. こどもたちの豊かに発達する無限の可能性を信じ、その力が十分に発揮できるよう療育知識の普及啓発等に努めます。		
基		2. サービス提供にあたって次の2点を柱としています。		
本情報		① 親子関係を中心に集団を通して個の育ちを大切にします。		
		② 地域との交流を通し社会性を養います。		
	営業時間	開所日:国民の祝日、年末年始、土日を除く平日 開所時間8:30~17:00		
	送迎の有無	有り(自宅近隣まで、条件有り)		

	項目	支援内容	具体的な活動や取り組み	
本人支援	健康・生活	(a)健康状態の把握 (b)健康の増進 (c)リハビリテーションの実施 (d)基本的生活スキルの獲得 (e)構造化等により生活環境を整える	・健康状態を確認し、体調の変化を細やかに把握する ・生活習慣やリズム、環境を整えて安定した生活基盤を構築する ・身体状況や特性、訪問時の状況を考慮し、様々な遊びを通して 学ぶ機会を設ける	
	運動・感覚	 (a)姿勢と運動・動作の基本的技能の向上 (b)姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用 (c)身体の移動能力の向上 (d)保有する感覚の活用 (e)感覚の補助及び代行手段の活用 (f)感覚の特性(感覚の過敏や鈍麻)への対応 	・体操、ストレッチ、乾布摩擦等による体性感覚の入力を図る・造形遊び(道具を使う制作活動や小麦粉粘土等の巧緻運動の課題等)の提供する・活動、遊びに参加しやすい姿勢や姿勢保持のための用具等を提案する	
	認知・行動	(a) 感覚や認知の活用 (b) 知覚から行動への認知過程の発達 (c) 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成 (d) 数量、大小、色等の習得 (e) 認知の偏りへの対応 (f) 行動障がいへの予防及び対応	 ・始まり・終わりの会(歌、手遊び、弁別課題、パネルシアターや絵本の読み聞かせ等)を実施する ・見る、聞く、触るという行動を促し、身の回りの物事への注目・理解に繋げる ・絵本や製作活動を通して季節を感じる遊びを提供する 	
	言語・ コミュニケー ション	(a) 言語の形成と活用 (b) 受容言語と表出言語の支援 (c) 人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得 (d) 指差し、身振り、サイン等の活用 (e) 読み書き能力の向上のための支援 (f) コミュニケーション機器の活用 (g) 手話、点字、音声、文字等のコミュニケーション手段の活用	・健口体操を実施する ・音楽遊び(楽器を用いた自己表現等)を提供する ・文字、記号、絵カード等の活用による視覚化を実施する ・マカトンサインの活用等の非言語性のコミュニケーションを提 案・活用する	
	人間関係・ 社会性	 (a) アタッチメント(愛着行動)の形成 (b) 模倣行動の支援 (c) 感覚運動遊びから象徴遊びへの支援 (d) 一人遊びから協同遊びへの支援 (e) 自己の理解とコントロールのための支援 (f)集団への参加への支援 	・ふれあい遊び、スキンシップ遊びを提供する ・やりとり遊び(協同遊びや役割分担のある遊び等)を提供する ・ABA を基にした働きかけで、適切な行動を引き出す	
家族支援		・個別支援計画作成のための面談を年2回行い、保護者の意向や目標、療育活動の成果を確認する。 ・保護者向けの勉強会やペアレントトレーニング等を実施し、家族の知識の習得や気付きを援助する。		
移行支援		・市内の公立保育園との交流の機会を設け、就園後の生活を体験する機会を持つ。・就学説明会や先輩就学児童の保護者と話す機会を設ける。また就学相談へ向けた心理発達検査を実施する。・学校等への引継書や個別指導報告書を作成し、就園・就学時の切れ目ない支援に繋げる。		
地域支援· 地域連携		・行政機関や教育機関(小学校・支援学校等)、福祉(児童発達支援、相談支援事業所)、親の会等との連携を図る。 ・医療機関等との連携会議(成田赤十字病院、国際医療福祉大学成田病院)へ参加し、連携を図る。 ・成田市地域自立協議会(相談支援部会、児童部会)へ参加し、地域の事業所との連携を図る。		
職員の質の 向上に資する 取組		・外部機関主催の研修(千葉県教育センター、心身障害児総合医療療育センター、千葉県発達障害者支援センター等)への参加。 ・SV・外部講師による療育への助言・指導。 ・事業所内研修の実施。		
主な行事		摂食指導(年4回)、園外保育(11 (移行支援に関連する行事) 保育園交流(年8回) (家族支援に関連する行事) 保護者向け勉強会(作業療法・言語	行事) パクパク教室(年2日、6月・12月)、ピカピカ教室(年4日)、フッ化物塗布(年5日)、 摂食指導(年4回)、園外保育(11月)、クリスマス会(12月)、入学を祝う会(3月) 行事) 保育園交流(年8回) 保護者向け勉強会(作業療法・言語療法・サポートファイル等 各年1回)、 就学に関する説明会(年1回)、父親保育(6月・1月)、ファミリーDAY(10月)	